

登 録 速 報

農 薬 名：ザンテツ豆つぶ250（登録番号：第 23333 号）

適用拡大登録月日：平成27年8月5日

適用拡大登録内容：

- 適用土壌、適用地帯の区分を廃止する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツハイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ハラオモダカ ヒルムシロ セリ	移植後3日～ ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	250g/10a	1回	湛水散布又は 湛水周縁散布

ピリミルファンを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシロンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

注意事項の変更：

【削除】

- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。

【変更後】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ハラオモダカは2葉期まで、ウリカワは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期までが本剤の散布適期である。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁散布をさけ、本田内で、水田全面に散布すること。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - 略
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、

別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以 上